

生まれ変

創成川通 駅前通の 今とこれから



駅前通



北3条から
大通までの
区間だよ

さっぽろ駅と大通駅を

地下歩行空間でつなぎます

現在、市中心部は札幌駅周辺地区と大通・すすきの地区に二極化して発展しています。この2つの地区を結ぶことで一体性が生まれ、活気ある都心がつくり出されます。また、季節や天候に左右されず、誰もが安全・快適に歩いて移動することができます。



自然光を取り入れ

憩いの空間をつくります

地下歩行空間の一部天井や出入り口にはガラスを使用し、地下にいながら地上が感じられるように工夫します。また、歩行空間の両脇や沿道ビルとの接続部を広場にして、ベンチを置いたりイベントを実施したりすることで、ただ歩いて通過するだけの通路ではない、にぎわいが生まれる空間をつくり出します。

にぎわいの軸 「駅前通」

目抜き通りとしてのにぎわい、楽しさを味わえる空間をつくる。

やすらぎの軸 「創成川通」

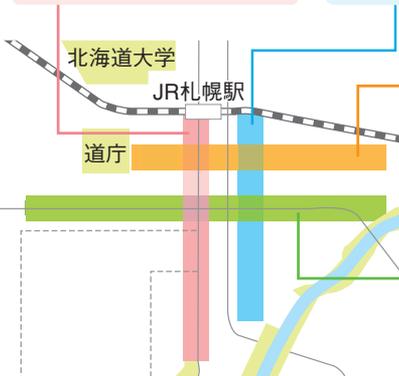
都心における新たな水辺環境として、落ち着いた空間をつくる。

うけつぎの軸 「北3条通」

まちづくりの基点となった歴史的価値を守りながら、新たな都心の発展を東方向へとつなげていく。

はぐくみの軸 「大通」

芸術文化活動など、多様な活動の場を提供し、はぐくむ環境を創出する。



都心のまちづくりの 中心となる四つの軸

市は、平成十四年度に「都心まちづくり計画」を策定し、札幌の都心部を魅力的にしていくなめの方針を示しました。この中で、駅前通、創成川通、大通公園、北三條通は、都心を整備するさまざまな取り組みを結びつけ、広げる基軸に位置付けられています。

街の顔「都心」から にぎわいが生まれます

都心部は、経済・文化・娯楽などが集まる場であり、市民だけではなく観光客なども行き交う、札幌の顔。そのため、札幌の魅力を高め、街の発展を進めていく上で、魅力あふれる都心をつくる必要不可欠です。